



発行所 小戸町
中央公民館
発行人 岡謙吾
発行日 毎月15日

ちょこっと一言 (70)

新年あけましておめでとうございます 1994年 年頭のごあいさつ



小須戸町教育長 高橋謙司

「二十一世紀に生きる 支える子供に

——ある日起きたら、背中に
羽根が生えていた。空を飛んで
みた。……夢だった。
近頃よく見るテレビコマーシ
ヤルのシーンを見ていて子供
の頃に見た、空を飛び回る夢を
思い出した。私の場合は羽根は

リングブル収集状況



下界を眺める心地よさだけを覚
えていた。夢から覚めても続き
を見たいと思つたほど楽しかつ
た。

生きていなかつたが、大空を自
由自在に飛び回る気持ち良さと
見えている。夢から覚めても続き
を見たいと思つたほど楽しかつ
た。

生きていなかつたが、大空を自
由自在に飛び回る気持ち良さと
見えている。夢から覚めても続き
を見たいと思つたほど楽しかつ
た。

謹賀新年 今年もどうぞよろしくお願ひいたします

中央公民館長 岡謙吾

小須戸分館長 栄森靖生 矢代田分館長 平間安雄

横水分館長 野崎迪夫 新保分館長 川瀬哲治

委員長 古川滿
委員会 委員長 古吉渡間小川田辺野林和怜道
内風間源一郎
澤山田山源一郎
迪義和
子睦昭男
図書委員会 館報編集委員会

ますと西暦二〇〇五年ころ、今
から十年後くらいになりますと
日本の高齢化現象は世界一にな
るという数値がでております。
こうなりますと、今の子供た
ちの働き盛りになるころは、も
はや「お手本」なしに自らの進
むべき道を自らの力で切り開い
ていかなければならなくなるわ
けであります。

つまり、今の子供たちには、な
つている人たちは誰か、それは
今私たちよりももつともつと
いろいろな意味で力量のある人
間に育つてもらわなければ
なりません。すなわち今幼稚園や小・中学校
に子供さんのいるお父さんやお
母さんたちであります。

それに対して、その頃に働き
ざかりになつて高齢者を支えて
くれる人たちは誰か、そうです、
それは今幼稚園や小・中学校で
学んでいる子供さんたちなので
あります。

そのためには友だちを押しこね
くしてでも、自分だけうまい汁を吸
える人になれ

計算が早ければいい、希望す
る学校に入るためには友だちを
押しこねくしてでも、自分
だけうまい汁を吸える人になれ
ばいいのだ、などという育て方
があります。

お父さんやお母さんたち自身の
老後の生活は、お先まつ時とい
うことになつてしまします。

それだけでなく、今の子供た
ちがもしも物の豊かさだけに
目を奪われて、子供たちを自分
のことしか考えられない、他人
の心を感じとれないわがままな
人間に育つてしまいますが、最
終的には自分自身が大変な目に会
わされてしまうことになります。

現代はまだヨーロッパなどで
日本よりも高齢化率の高い国が
ありますので、いわばまだ日本
にとっての「お手本」がありま
す。しかし、厚生省の統計を見
ると、この年代になりますと、高
齢者を支える方も大変なこと
になります。

この年齢になりますと、高
齢者の方も大変なことになり
ます。

この年齢になりますと、高
齢者の方も大変なことになります。

